	tite on	<b>生夕</b>	循環器疾	电分件				体系番号	<del>}</del> 0	101010502
施策等名称			<b>循</b> 項	思刈束				主管課	健康	ででい推進課
	旃領	基本情報	7							
現状と課題			発症してから たり、降圧薬 メタボリック	高血圧の治療を飲んでも高い を飲んでも高い 該当者と予備	症高血圧の人の率が、 療が開始されている方 い状態の方がいます。 精群の方が減少してい。 目標に達していません。	もみられます。また 。 ません。				
	るべき	す将来像 き姿、基本的 きえ方)	目指します。	特定健診を受 血圧の測定を	診を受けることで、自 をける人を増やし、健診 をすすめ、必要な治療	結果により保健指	導を行し	ます。高』	正圧の人について	ても個別に保健指導
	指標名称				指	指標の説明(単位)				2022年度目標値 2027年度目標値
色音	1	① 虚血性心疾患の死亡 男性 65歳以上の年齢調整死亡率			年齢調整した虚血性心疾患の死亡率(率)				23.40	19以下
策指		all the late of the	患の死亡 女	生	年齢調整した虚血性心疾患の死亡率(率)					11以下
Ħ	2	極単性心疾 65歳以上の	あめえこ ス 年齢調整死亡	塞	年齢調整した虚血性	心疾患の死亡率(	<del>学</del> )		12.70	ПАР
f	3	65歳以上の	年齢調整死亡 高血圧の割合		年齢調整した虚血性 血圧180mm/110Hg以				0.50	0.00
		65歳以上の 40~64歳の	年齢調整死亡					主管課	0.50	
f		65歳以上の 40~64歳の 名 新 循環器 詳 循環器	年齢調整死亡 高血圧の割合 疾患対策	を減らすため		以上の人/受診者(	%) oとともに、	保健指導	0.50	0.00
f		65歳以上の 40~64歳の 名 称 詳細 詳細 まちづくり	年齢調整死亡高血圧の割合疾患対策 疾患対策 疾患のリスクなるよう支援しま の目標指標	を減らすため ぎす。	血圧180mm/110Hg以	以上の人/受診者(	%)		0.50	0.00 づくり推進課 人ひとりが健康管理
f		65歳以上の 40~64歳の 名 称 循環器 詳 循環器 を行え まちづくり	年齢調整死亡高血圧の割合疾患対策	を減らすため です。 指標	血圧180mm/110Hg以 、健診を受けやすい環	以上の人/受診者( 境の整備を進める 計画策定時	%) かとともに、 2022年 2027年	保健指導	0.50 健康: 等により市民一	0.00 づくり推進課 人ひとりが健康管理 主要事務事業 区分
f	施策の	65歳以上の 40~64歳の 名称 循環器 詳細 を行え まちづくり り り 65歳以上	年齢調整死亡高血圧の割合疾患対策 疾患対策 疾患のリスクなるよう支援しま の目標指標	を減らすため です。 指標	血圧180mm/110Hg以 、健診を受けやすい環 の説明(単位)	以上の人/受診者( 境の整備を進める	%) かとともに、 2022年 2027年	保健指導 度目標値 度目標値	0.50 健康で 等により市民一 柱を構成する主	0.00 づくり推進課 人ひとりが健康管理 主要事務事業 区分 業 実施
î	施策	65歳以上の 40~64歳の 名称 詳細 話標で まちづ性 の 男性 65歳で の 1 1 65歳で の 1 65歳で の 1 65歳で の 1 65歳で の 1 65歳で 0 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	年齢調整死亡高血圧の割合疾患対策 疾患のリスクであよう支援しまの目標指標疾患の死亡	を減らすため です。  指標  年齢調整した  亡率(率)	血圧180mm/110Hg以 、健診を受けやすい環 の説明(単位)	以上の人/受診者( 境の整備を進める 計画策定時 23.40	%) 2022年 2027年 19	保健指導 度目標値 度目標値	0.50       健康で       等により市民一       柱を構成する3       1 特定健診事業	0.00 づくり推進課 人ひとりが健康管理 主要事務事業 区分 業 実施
î	施策の	65歳以上の 40~64歳の 名称 循環器 詳細 を行うくり 虚血性 85歳立性 1 65歳立性 95歳立性 2 女性	年齢調整死亡高血圧の割合疾患対策 疾患のリスク・るよう支援しまの目標指標疾患の死亡の年齢調整	を減らすため です。  指標  年齢調整した  亡率(率)	血圧180mm/110Hg以 、健診を受けやすい環 の説明(単位) で虚血性心疾患の死	以上の人/受診者( 境の整備を進める 計画策定時	%) 2022年 2027年 19	保健指導 度目標値 度目標値 以下	0.50       健康で       等により市民一       柱を構成する3       1 特定健診事業       2 特定保健指導	0.00  づくり推進課  人ひとりが健康管理  主要事務事業 区分業 実施  事事業 実施  参事業 実施

		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	Ħ	を構成する主要事務事業	区分
施策の	1	虚血性心疾患の死亡 男性	年齢調整した虚血性心疾患の死	23.40	19以下	1	特定健診事業	実施
の 柱		65歳以上の年齢調整 死亡率	亡率(率)	23.40		2	特定保健指導事業	実施
1	2	虚血性心疾患の死亡 女性	年齢調整した虚血性心疾患の死	12.70	11以下	3	40歳未満健診事業	実施
2	_	65歳以上の年齢調整 死亡率	亡率(率)			4	後期高齢者健診事業	実施
		40~64歳の高血圧の	血圧180mm/110Hg以上の人/受	0.50	0.00	5	国保40歳未満健診	実施
3	3	割合	診者(%)	0.50		6		
	基	本政策間連携						·

名称 主管課

詳細

施策の体系

	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
施策	1				1	
の 柱					2	
2	2				3	
	-				4	
	3				5	
					6	
	其太政等問演集				•	

名称 主管課

詳細

	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位) 計画策定		2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
施策						1	
の柱						2	
3	•					3	
	2					4	
	3					5	
	3					6	
	基	本政策間連携					

施策等名称	循環器疾患対策	体系番号	0101010502
心来守石你	· III 및 研究	主管課	健康づくり推進課

2 指標等の推移と変動要因

		推移と変動要因		2018年度				1						
体系区分		成果指標名	計画策定時	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度							
	指標No.	***************************************	中間目標値	1		達成率(実績信	直÷目標値)							
	<mark>施策</mark> 1	虚血性心疾患の死亡 男性     23.40     20.90     18.50     未確定       65歳以上の年齢調整死亡率     19以下     56.82     111.36     #VALUE!												
	2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24~28年の平均値。リスクの高い方への受診勧奨や保健指導を行っている。												
変動	2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25~29年の平均値。減少し、目標値を達成している。												
要因	2020年度	未確定												
等	2021年度	· <b>E</b>												
	2022年度 施策		12.70	11.90	0.00	未確定								
	2	虚血性心疾患の死亡 女性 65歳以上の年齢調整死亡率	11以下	47.06	164.71	#VALUE!								
	2018年度	実績は、把握している直近の数値でH24~2	8年の平均値。リス	クの高い方へ	の受診勧奨や	保健指導を行	っている。							
変動	2019年度	実績は、把握している直近の数値でH25~29年の平均値。目標値を達成している。												
要因	2020年度	未確定												
等	2021年度													
	2022年度							,						
	施策 3	40~64歳の高血圧の割合	0.50	0.87	0.92	1.38								
		0.00   -74.00   -84.00   -176.00												
変	2019年度	1,198人中11人が重症高血圧だった。若い年代の方は特にリスクが高いため、保健指導を特に強化していく必要がある。												
動要	2020年度	昨年度よりも増加している。コロナの影響で受診率自体も下がっていることも影響したかもしれない。												
因 等	2021年度													
	2022年度	E												
	<u>柱1</u> 1													
	2018年度													
変	2019年度													
変動要因等	2020年度													
等	2021年度													
	2022年度			Г		T	T							
	柱1 2													
	2018年度													
変	2019年度													
変動要因等	2020年度													
等	2021年度													
	2022年度						T							
	柱1 3													
	2018年度		ı											
変	2019年度													
変動要因等	2020年度													
等	2021年度													
	2022年度													

施策等名称 循環器疾患対策 体系番号 0101010502 主管課 健康づくり推進課

3 評価・改革改善(単位:円)

項目 2016年(前年度比) 2018年(前年度比) 2020年(前年度比) 2022年(前年度比) 2022年(前年度比) 2022年(前年度比) 2024年(前年度比) 2024年(前年度上) 2	評価・改	<u> 革改善</u>									(単	<u> (位:円)</u>
25- 財代  26,450,884   28,366,175   1.07   28,946,032   1.02   21,444,000   0.74   1.07   1	項		2018年(前年	<b>F度比</b> )	2019年(前年	度比)	2020年(前年	度比)	2021年(前年	<b>F度比</b> )	2022年	(前年度比)
接受	4	事業費(円)	52,183,277		54,543,529	1.05	49,111,232	0.90	62,453,000	1.27		
(一般財産) 上1096以上の場合 上2096以上の場合 上2096以上の場合 上2096以上の場合 上2096以上の場合 上2097以外の場合 上2097によりの場合	<b>5</b> '	ち一財(円)	26,450,884		28,366,175	1.07	28,948,032	1.02	21,444,000	0.74		
中部・企業の実施業の上に向けて登場を受けたものである。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を変更を受ける。 大学を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	資 信 額 前土上	一般財源 対年度比 ±10%以 ±の場合										
正	進捗	評価	おおむね』	頁調	おおむね順	調	やや遅れて	いる				
本	<b>f</b> i	主な取組内容や成	に向けて受診勧奨を 行った。高血圧の治療 中断者や重症高血圧者 に訪問指導を行った。後 期高齢者健診では、受 診案内を個別発送し、受		ことが出発になるので、 なるべく多くの方に受診 していただくよう、職員全 員で受診勧奨を行った。 高血圧の講演会を開催 し、多くの市民の皆さん に高血圧対策が必要で あることを知っていただ		が、特定健診や保健指導を例年どおり行った。 冬場の集団特定健診 は、医療機関で受けそ びれた方の受け皿とな					
本本・改善・改善・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書・ 本書	台 評 価	課	高血圧者が減少ない。特定健診 者は、対象者の	<b>少してい</b> の受診 減少も	今年度も減少し <sup>7</sup> 市町村と比較し 圧の人が多い状	ない。他 ても高血	ていること。高血	圧者が				
重点化する 施策の柱     1     1       重点 事務事業     1     1       特定健診を多くの方に 受けていただき、リスクが高い場合は治療を開始し、生活習慣の改善につなげていくことが必要です。受診率の向上に向けた取組を行います。     特定健診を受けてもらうことで、個々のリスクが初めてわかるので、受診本向上に向けた取組を行います。		革・	市民公開講座を 度に企画する。 者への保健指導 疾患についての 通じ、質の高い	2019年 高血圧 り、心臓 学習を	指導が大切にな 指導の質の向上 機関との連携に 検討をしていく。	る。保健 : や医療	することにより、このまま放置する。 す取組をしていく 機関にも置いても 医師との連携を	高血圧 人を減ら 。医療 ららい、				
	重施事の柱等の重	護策の柱 重点 野事業	1 特定健診を多く 受けていただき が高い場合は対 始し、生活習慣 つなげていくこと です。受診率の	、リスク 合療を開 の改善に :が必要 向上に	1 特定健診を受け ことで、個々のリ 初めてわかるの 率向上に向けた	スクが で、受診	1 特定健診を受け ことで、個々のリ 初めてわかるの 率向上に向けた	スクが で、 <b>受診</b>				
	化											

作成担当者	小穴範子	小穴範子	小穴範子	
最終評価責任者	両角直樹	両角直樹	依田利文	
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月31日	